

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業実施計画期間	平成31年～平成35年度(5年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	(ちゅうよさんがく) 中予山岳森林計画区 (愛媛県)	事業実施主体	四国森林管理局 愛媛森林管理署
事業の概要・目的	<p>本計画区は、北は面河川の源流部、南は天狗高原までの愛媛県中央部に位置し、区域面積58千haで森林はその90%の52千ha、人工林率は76%となっている。年平均気温13℃で、平均年間降水量は1,700～2,100mmと冷涼多雨で林木の生育に適した気候条件下にある。</p> <p>本計画区の国有林野は、森林面積の17%にあたる9千haで、面河川の上流石鎚山周辺と面河川の支流黒川の上流小黒山周辺、遅越山、伊豆ヶ谷山周辺にまとまって分布している。</p> <p>その種別面積は、人工林3,227ha(37%)、天然林4,607ha(53%)、その他785ha(9%)となっている。また、国有林野の97%が水源かん養保安林等の保安林に指定され、水源涵養等の森林の有する公益的機能の発揮が期待されている。</p> <p>人工林は、その58%をヒノキが占め、齢級構成は、7齢級以下が11%、8齢級～10齢級が29%、11～14齢級が49%と、間伐対象となる8齢級以上が全体の6割を越えており、適切な森林整備が必要となっている。</p> <p>天然林は、面河山、伊豆ヶ谷山、猪伏山等の周辺にまとまって分布しており、優れた景観を有する森林については、石鎚国立公園をはじめ、四国カルスト及び皿ヶ嶺連峰の各県立自然公園に指定されている。</p> <p>本計画区は、人工林は少ない地区であるが、国土保全、水源涵養及び保健休養等の公益的機能の発揮や地球温暖化防止、木材の安定供給が期待されていることから、間伐等、適切な森林施策を推進するとともに、その基盤となる路網の整備を推進する。また、その結果、得られる木材について、持続的かつ計画的な供給に努める。</p> <p>なお、具体的な取組事項としては、これまでの評価結果等を踏まえ、列状間伐や路網と高性能林業機械を組み合わせた効率的な作業システム等による間伐の実施を推進する。また、コンテナ苗等を活用し伐採から造林までを一体的に行う一貫作業システム等による主伐・再造林に取り組み、その実施に際しては、自然条件や社会的条件を考慮して実施箇所を設定するとともに、造林コストや花粉の少ない森林への転換、ニホンジカやノネズミ等による鳥獣被害等に配慮しつつ、公益的機能の持続的な発揮と森林資源の循環利用の観点から確実な更新を実施する。</p> <p>さらに、計画、設計、施工の各段階において森林生態系との調和を図ることに留意しながら、林道と森林作業道等との適切な組合せによる路網の計画的な整備を推進し、その際、特に自然・社会的条件の良い森林において重点的な整備を推進する。</p> <p>主な事業内容 森林整備 更新面積 32ha 保育面積 1,340ha 路網整備 開設延長 4.80km 改良延長 2.50km 総事業費 1,315,781千円 (税抜き 1,218,316千円)</p>		
費用便益分析	総便益(B) 2,668,207千円		
	総費用(C) 1,518,455千円		
	分析結果(B/C) 1.76		
森林管理局事業評価技術検討会の意見	公益的機能の発揮と木材安定供給のために、計画的な森林整備とシカ被害対策が求められている地域であり、必要性、効率性、有効性など評価の観点から、妥当なものとなっている。		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> 必要性 適切な森林整備をすることにより、国土保全、水源涵養及び保健休養等の公益的機能の発揮や地球温暖化防止、木材の安定供給が期待されていることから、事業の必要性が認められる。 		

- ・ 効率性 本事業の実施にあたっては、列状間伐や高性能林業機械を組み合わせるなど、従来の施業方法を見直し、生産性の向上に努めるとともに、下列の回数削減等、保育事業の低コスト化を進める等、現地に応じた最も効果的な工種・工法を採用することとしており、費用便益分析の結果から、事業の効率性が認められる。
 - ・ 有効性 シカの生息数の増加に伴い、適切なシカ被害防止対策を講じるなど、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備であるとともに、国有林の地域別森林計画に即した事業内容であり、森林の有する多面的機能を十分発揮させる有効な事業であると認められる。
- 新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備が効率的に計画されていると認められる。

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：愛媛県

施行箇所：中予山岳森林計画区

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	563,318	
	流域貯水便益	227,735	
	水質浄化便益	483,402	
山地保全便益	土砂流出防止便益	523,487	
環境保全便益	炭素固定便益	247,640	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	52,777	
	木材利用増進便益	2,281	
	木材生産確保・増進便益	168,564	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	10,455	
	森林整備促進便益	388,548	
総 便 益 (B)		2,668,207	
総 費 用 (C)		1,518,455	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{2,668,207}{1,518,455} = 1.76$		

中予山岳森林計画区の概要図(愛媛県)



【管内市町村】

久万高原町



四国森林管理局管内図

